



World Vision

この子を救う。未来を救う。



グアテマラ共和国 チセク地域開発プログラムのご紹介 (GTM-220969)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもに直接お金やモノを提供するプログラムではありません。支援地域の子もたちが健やかに成長するための環境を整え、人々が“未来を切り拓く力”を得られるようにする、長期的な支援活動です。チャイルドが住む地域とその課題、現地でワールド・ビジョンが実施している活動についてご紹介します。

地域の課題



支援地域の一般的な住居



雨期には道路が浸水し、通学が困難になることもあります



保健・栄養

- 慢性的な栄養不良の5歳未満児の割合 **50%**
- 年齢に応じた予防接種を受けていない子どもが多い
- 急性呼吸器疾患や下痢症で命を落とす子どもが多い



教育

- 15～18歳の子どものうち、学校に通っている割合 **6.5%**
- 15歳以上の識字率 **65%**
- 家庭の経済的な事情で通学を諦めざるを得ない子どもが多い



子どもの保護

- 女の子の早婚が多い
- 母子家庭または祖父母に預けられて暮らす子どもたちが多く、親・保護者の不在中に様々な暴力・虐待に遭うリスクがある

国情報

グアテマラ共和国

中米に位置するグアテマラ共和国は、メキシコ、ホンジュラス、エルサルバドルなどと国境を接しています。北海道と四国を合わせた面積よりやや広い国土を持ち、民族はマヤ系先住民が人口の約4割、欧州系および欧州系と先住民の混血の人々が5割を占めています。公用語はスペイン語で、その他に22の言語があります。教育制度は、就学前教育（3年）、初等教育（6年）、前期中等教育（3年）、後期中等教育（2～3年）で、義務教育は初等教育、前期中等教育の9年間です。1960年に内戦が勃発し、30年以上続いた後に終結しましたが、現在も治安の悪さや貧困問題が課題になっています。

チセク地域開発プログラム

首都：グアテマラシティ

地域情報

チセク 地域開発プログラム

支援期間：2022年～2033年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のグアテマラシティから北へ約300kmに位置する、アルタ・ベラパス県チセク市にて、チセク地域開発プログラムを実施します。同市の人口約8万5000人のほとんどが、農村部に暮らすマヤ系先住民のケクチ族です。住民の大多数は家庭で栽培した農作物（トウモロコシ、豆、野菜など）や家畜飼育により暮らしていますが、極度の貧困率は約65%（2011年、グアテマラ政府統計より）と非常に高い状況です。そのため、成人男性の多くがグアテマラシティなどの都市部や海外へ出稼ぎに出ており、母子家庭または祖父母に預けられて暮らす子どもたちが数多くいます。

地域の課題



保健・栄養、水衛生

栄養バランスのよい食事を十分に取れる家庭は少なく、また人々の栄養や健康管理に関する知識も限られているため、多くの子どもたちが慢性的な栄養不良や下痢に苦しんでいます。女性たちの多くは、毎日長時間をかけて川まで水をくみにいきます。



衛生的なトイレと手洗い設備を設置し、人々の健康を守ります



教育

水くみや薪集めなど、家事を手伝うために学校を休む子どもたちが少なくありません。雨期には学校に向かう道路がぬかるみ、通学が困難になることがあります。



ワールド・ビジョンが支援する学校で学ぶ生徒たち



子どもの保護

子どもや女性の権利に対する認識が低いことや、古くからの慣習により、若くして結婚せざるを得ない少女が多くいます。母子家庭または祖父母に預けられて暮らす子どもが多く、親や保護者の不在中に様々な暴力・虐待に遭うリスクがあります。



研修では、家族関係を改善する方法や前向きな子育てを学びます

WVが行う支援活動

- ・ 妊産婦と子どもの健康・発育状況の確認、栄養に関する啓発活動
- ・ 水衛生環境の改善（給水設備、トイレの設置）と、衛生行動に関する啓発活動
- ・ 農業や小規模ビジネス支援など、生計向上の支援

- ・ 子ども、親、地域住民を対象とした、教育の重要性を訴える啓発活動
- ・ 識字教育
- ・ ライフ・スキル（日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力）教育

- ・ 子どもの権利と保護に関する啓発活動
- ・ 子どもクラブや青少年クラブの活動
- ・ 親や保護者対象とした、体罰や言葉の暴力に頼らない「肯定的なしつけ」に関する研修

支援はチャイルドの生活を変える力となります



4歳のピロンくんの父親は、季節労働者として出稼ぎをし、母親は家族の世話をしながら、農場で働いています。一家は極度の貧困と劣悪な水衛生環境の中で暮らしており、地域内で最も脆弱な家庭のひとつです。

2021年3月、1歳の頃から病弱だったピロンくんは重度の急性栄養失調と診断され、村から31km離れたチセク市にある医療センターへの入院を勧められました。しかしピロンくんの母親には経済的・精神的な余裕がなく、ピロンくに必要な医療を受けさせることができませんでした。

この地域の母親たちは、保健・栄養に関する十分な知識を持っていないため、栄養不良のせいで何度も病気にかかり、5歳になる前に命を落としてしまう子どもたちが少なくありません。ワールド・ビジョンは、ピロンくんのような子どもたちが健やかに希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報をご覧いただけます。ホームページトップの「支援者の皆さまへ」に進み、「アカウント作成」のボタンから、手続きをしていただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN